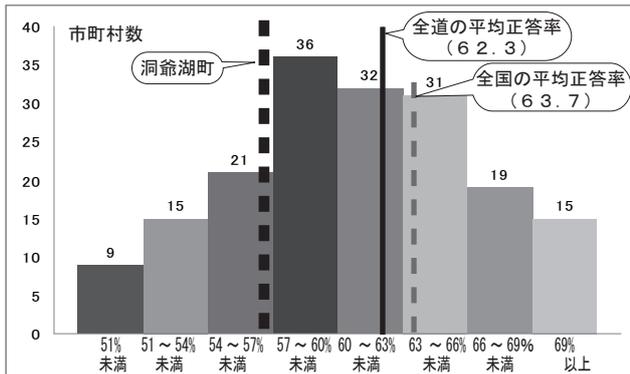
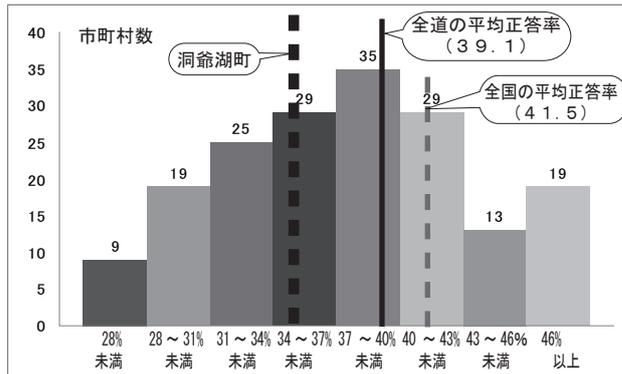


【中学校数学A】(主として「知識」に係る問題)



【中学校数学B】(主として「活用」に係る問題)



グラフの見方

各科目の北海道平均正答率を3%ごとの階層に区分し、その階層に含まれる市町村数を示しています。■■■線は洞爺湖町、——線は北海道、---線は全国平均正答率のおおよその位置を示しています。例えば、グラフ一番上の【小学校国語A】問題をみると、平均正答率57~60%未満の階層に洞爺湖町が位置し、この階層には50の市町村が属することを示しています。北海道の線より左側に洞爺湖町の線があり、北海道平均を下回っている状況を示しています。

平均正答率の北海道平均とのおおよその差

	小学校				中学校			
	国語		算数		国語		数学	
	A	B	A	B	A	B	A	B
高い								
やや高い		☆		☆				
ほぼ同様(上位)	☆●		☆			☆	☆	☆
同様(北海道平均)		●		●	☆◎			
ほぼ同様(下位)	◎		●◎	◎	●	◎		●
やや低い		◎				●	●	◎
低い							◎	

●胆振管内平均 ◎洞爺湖町平均 ☆全国平均

小学校の結果概要

全科目を通じて、北海道平均を下回る状況となっています。昨年度は、ほぼ北海道平均に近づいていましたが、今回は北海道平均との差が広がっています。町内の学校間の差は小さくなっています。

中学校の結果概要

北海道平均を下回る状況が続いていますが、今年度は、国語Aで北海道平均と肩を並べ、国語Bと数学Bではその差が小さくなっています。全国平均を上回る学校もあります。町内の学校間の差は小さくなっています。

子供たちに基礎学力を保障するため

学力調査は学力の一面を表すものであり、平均点を上げることが目的ではありません。子どもたちが「社会で自立して生きていくために」、「自分の将来を的確に判断するために」、基礎学力は欠かすことができません。そこに、地域間の学力差があってはなりません。子どもたちに基礎学力を保障するために、学校、保護者、地域が連携して教育に取り組むことが大切です。

質問紙調査を通して

- ①毎日、朝食を食べる習慣は小中学生ほぼ同じ
小学生…86.7% 中学生…85.7%
小学生は昨年より高く、中学生は低い
- ②平日、テレビを見る時間が長い
(3時間以上見る割合)
小学生…46.7% 中学生…42.9%
小中学生ともに全国・北海道より高い
- ③平日、テレビゲームをする時間が長い
(2時間以上する割合)
小学生…40.0% 中学生…36.4%
小中学生ともに全国・北海道より高い。
- ④平日、授業以外で勉強する時間が短い
(1時間以上する割合)
小学校…39.9% 中学校 45.5%
小中学生とも全国に比べ20%以上低い
- ⑤図書館にあまり行かない
(学校図書室、地域図書館にほとんど又は全く行かない割合)
小学生…50.0% 中学生 71.4%
小中学生ともに北海道より10%以上高い
- ⑥自己肯定感はやや高い
(自分には良いところがあると思う割合)
小学生…36.7% 中学生 26.0%
小中学生とも全国・北海道に比べやや高い

